

第 60 回全国社会教育研究大会（青森大会）参加報告

2018.10.31 新潟市社会教育委員会議

メイン会場：リンクステーションホール青森（青森市文化会館）3分科会青森国際ホテル

【第 1 日目】10 月 24 日(水)

15:00～16:45 一般社団法人全国社会教育委員連合 理事会（20 名中 14 名出席：成立）

第 1 号議案 第 61 回全国社会教育研究大会（兵庫大会）新元号元年 10 月 23 日～25 日

第 2 号議案 第 62 回全国社会教育研究大会（新潟大会）新元号 2 年 11 月 11 日～13 日

第 3 号議案 第 63 回全国社会教育研究大会の開催地区について：東海・北陸地区（未定）

第 4 号議案 全国社会教育委員連合のミッションについて

①全国社会教育委員連合の持続可能な発展のためのアンケート調査結果の概要

改善・充実（社会教育委員の見える化、大会、研修、社教情報等）

新規（国社研との連携、文科改革にあわせての地方施策調査、研修副読本等）

財源確保（会費値上げ、Q & A 新人委員の購入、大会負担金、個人会員等）

②全国社会教育委員連合のミッション（案）の検討状況について

〔山崎副会長から提案〕社会教育を振興するため「社会教育行政の制度設計に対して意見する」、「社会教育委員の研究調査活動を支援する」（研修機会の充実、研究調査、情報発信）

第 5 号議案 全国社会教育委員連合の運営について【総会で各団体 3 号～検討依頼】

新元号 2 年度中に公益目的財産取り崩し終了。以降年間 300 万円不足。

増収策：社教情報値上げ 200 万円（買取方式調査）、会費値上（1～3 万）

報告事項 助成事業決定、セミナー 2 か所

その他 第 3 回理事会・総会平成 31 年 3 月 1 日（金） 新年度第 1 回 5 月 24 日（金）

17:00～18:15 都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議

研究発表①「兵庫県社会教育委員会議について」兵庫県教委事務局

委員 15 名・任期 2 年・全体会年 3 回

第 1 部会：県・近畿の社会教育委員協議会との連携

第 2 部会：審議報告（2 年ごと→ひょうご教育創造プランにあわせ 5 年）

7 名（高校長、公民館連合、大学 4、ライフデザイン研究所）

現テーマ「多様な人々の協働を進め、一人一人が社会的に包摂され、主体的に参画できる社会の実現を目指す社会教育のあり方」

第 3 部会：事業視察と助言

研究発表②「社会教育委員研究調査における効果的方策一考」大分県

資料 <http://syakyoren-oita.jimdofree.com>（3 週間ほどあげておく）

【第2日目】10月25日(木)

- 10:00～11:30 一般社団法人全国社会教育委員連合 総会【理事会に同じ】
68 団体中出席 39 団体・委任状 28 団体（未提出 1 団体）：成立
- 12:30～13:00 アトラクション（県立田子高校郷土芸能部：田子神楽とナニヤドヤラ）
- 13:00～14:00 開会行事（表彰）
- 14:20～15:20 記念対談 演題「課題をチャンスに 持続可能な未来をつくる社会教育の実践に向けて～地方創生における社会教育委員の役割～」三村申吾青森県知事・大橋謙作東北福祉大教授（本会前会長）
- 15:40～17:20 シンポジウム 社会教育の活性化に向けた社会教育委員の「見える化」
コーディネーター 内海隆青森県社会教育委員連絡協議会会長
シンポジスト 合田隆史尚綱学院教授
清國祐二香川大学生涯学習教育研究センター長
生島美和弘前学院大学准教授
小池玲子長野県社会教育委員連絡協議会会長
- 17:20～17:40 閉会行事 次年度全国社会教育研究大会担当県（兵庫県）によるPR
次年度全国公民館研究大会担当県（岩手県）によるPR

【第3日目】10月26日(金)

9:30～12:00 分科会

研究主題「課題をチャンスに 持続可能な未来を創る社会教育の実践を」に基づき、各テーマについて、「一人一人が未来を創るために何ができるのか」について、事例を「たたき台」として、地域の問題を解決するための具体的なアイデアを出し合う場とする。

第1：課題解決に挑戦する地域づくりと社会教育（地縁と志縁による地域づくりについて考える）

第2：新しい公民館の探求（地域社会の発展、活性化に寄与する人材を育む公民館のあり方について考える）

第3：地域全体でサポートする家庭教育（民間や学校と連携した家庭教育支援について考える）

第4：地域と学校の連携・協働の在り方（地域と学校の連携協働が地域創生につながる活動について考える）

第5：地域を元気にするアクティブシニア（シニア・プレシニア世代が子どもたちと共につくる地域の未来について考える）

以上 雲尾周（連合監事・新潟市社会教育委員会会議議長）